

## 令和 5 年度 芦屋市自立支援協議会 専門部会について

## 1. 今年度の取組内容

『ライフステージ全体を可視化できる仕組みづくり』を今年度の専門部会のテーマとし、『障がいのある人の「現在地」がわかるライフステージのフロー』作成に取り組んだ。

## 2. 開催状況

	日時	場所	内容
第 1 回	令和5年 6月28日	芦屋市保健 福祉センター	・昨年度自立支援協議会の報告、今年度のスケジュールの検討 ・『障がいのある人の「現在地」がわかるライフステージのフロー』の具体的なイメージについて意見交換・共有
第 2 回	令和 5 年 7月28日	芦屋市保健 福祉センター	・調査内容を持ち寄り、ライフステージごとに意見を出して集約
8月3日 第1回本会議にて進捗を報告			
第 3 回	令和 5 年 9月8日	芦屋市保健 福祉センター	・発達障害者支援センタークローバー芦屋ランチ、芦屋市権利擁護支援センターより機能、対応の実情等について講話 ・ライフステージごとに意見を出して集約②
第 4 回	令和5年 10月24日	木口記念会館	・実務者会より今年度座談会で上った意見と、基幹相談よりあしやねっと♪リニューアル作業進捗状況について共有 ・上記を踏まえたツール作成に関する意見を共有
第 5 回	令和 5 年 11月9日	芦屋市保健 福祉センター	・18歳未満/以上のグループに分かれて作業・意見交換① ・今年度のツール作成の見通しについて。まるっと説明会にて年表形式のツール展示することを今年度の目標に設定。
第 6 回	令和 5 年 12月21日	芦屋市保健 福祉センター	・18歳未満/以上のグループに分かれて作業・意見交換② ・実務者会よりヒアリング内容を共有
12月26日 第2回本会議にて進捗を報告			
第 7 回	令和 6 年 1月16日	芦屋市保健 福祉センター	・18歳未満/以上のグループに分かれて作業・意見交換③ ・実務者会より活動内容評価のための振り返りアンケート
第 8 回	令和 6 年 2月8日	芦屋市保健 福祉センター	・まるっと説明会展示に向け作成中のツールの内容を調整。 ・今年度の専門部会の振り返り。次年度に向けての確認
令和 6 年 2 月 13 日～2 月 18 日まるっと説明会(木口記念会館)にてライフステージフローを展示(別紙)			
3月28日 第3回本会議にて報告(予定)			

### 3. 活動実績と今後の予定

今年度は当事者家族や児童期から成人期以降まで広く障がい者支援に携わる職員等を構成員に迎えた。作成にあたっては昨年度の実務者会の座談会で集約された課題に基づいて行い、ライフステージが変わるごとに起こる「支援の切れ目」、その支援の切れ目で知っておきたい制度や相談先、サポートファイルの活用、将来のための準備などがわかることを目的としたツールの作成を進めた。

取り組みを進めている中で、実務者会とあしやねっと♪事務局から新たな提案があり、実務者会の座談会にて今年度新たに挙げた「情報」に関する課題と、あしやねっと♪(ホームページ)のリニューアルに伴う情報の整理について、現在の作業に追加して専門部会で取り組むかどうか検討した。同じ「情報」に関する課題であるため、あわせて取り組む方が効果的効率的であろうとの方向で決まったが、追加内容のボリュームが大きいため、専門部会を2か年で実施し令和6年度の専門部会で引き続き取り組むこととなった。

令和5年度の実績として、年表形式のライフステージのフローを作成し、令和6年2月のまるっと説明会にて展示を行った。現在、今年度のまとめとしてツールのイメージに合ったイラストの作成依頼を市内事業所に行っている。ツールの作成にあたっては会議の回数は例年に比べ多かったが、障がいのある子どもの親御様や障がいに関わる多くの機関がそろって意見を交換し、それぞれの世代の必要なことや制度などの情報が共有でき、福祉だけでなく教育や保健との協働・連携の場となった。

令和6年度は、前年度様々な情報を共有している実績をベースに、引き続きツールの作成を進める。構成員は今年度もできるだけ継続可能な範囲でそのままスライドするとともに、必要に応じて、ツール作成におけるデザインのアドバイスやそれぞれのライフステージ・切れ目に詳しい当事者・専門家・他機関にも参画いただき、フレキシブルに会議メンバーの追加ができるようにしたい。成人期のフローについては掲載情報の取捨選択を協議しつつ、児童期・成人期ともにQRコードの埋め込みやフロー以外のページの内容を協議、作成する見通しである。QRコードの情報は、インターネット上の既存ページやあしやねっと♪を活用した追加情報や動画資料のページへのリンクを検討している。